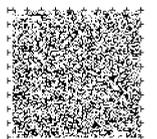


参考資料

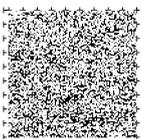
目次	
1 各施策・事業の一覧	…102
2 策定体制・策定の経過	…109
3 アンケート結果	…112
4 要綱と名簿	…141
5 用語解説	…146



1 各施策・事業の一覧

■方策① 孤立を生まない地域づくり

関連施策や事業等	概要	所管
ふれあい給食サービス事業の支援	高齢者等の孤独感の緩和・安否の確認や連帯感を高めるために、ひとり暮らし高齢者等とボランティアが食事を介してふれあいを深めるふれあい給食サービス事業を支援します。	社会福祉協議会
コミュニティワーカーとしての地域支援	社会福祉協議会の職員がコミュニティワーカー（参考資料の用語解説を参照）として地域支援（参考資料の用語解説を参照）を行います。	社会福祉協議会
ふれあい・いきいきサロン活動の支援	地域の孤立しがちな高齢者、障害者、親子等が気軽に集まり、地域住民とともに楽しく過ごすことを通し、地域の関係づくりを進める「ふれあい・いきいきサロン」活動を支援します。	社会福祉協議会
高齢者サロン整備等生活支援推進事業	高齢者等の集いの場（サロン）の整備やサロン運営者の育成、生活支援のネットワークづくりを推進することにより、生活支援の基盤と充実を図っています。	健康福祉局 地域ケア推進課
子ども食堂推進事業	子ども食堂の実施団体に対し、開設経費を助成するとともに、連絡会やシンポジウム等を開催し、市内の子ども食堂の活動を支援しています。	社会福祉協議会
福祉教育・福祉学習	子どもたちをはじめとした市民の福祉意識を高めていくことで、地域の様々な課題に市民が関心を持ち、自らが主体的に地域福祉活動を実践していけるように、学校や地域との連携、協働した魅力あるボランティア活動や福祉学習の実践に関する相談に応じるとともに、車いす、点字器、アイマスクといった資材貸出などの支援を行っています。	社会福祉協議会
障害者差別相談センター	専門の相談員が障害者やその家族、事業者などから障害を理由とする差別に関する相談を受けて、関係者間の調整などを行って解決につなげます。	健康福祉局 障害企画課

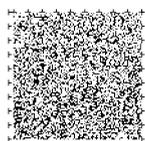


関連施策や事業等	概要	所管
ふれあいネットワーク活動の支援	地域で見守りが必要な方に対して、近隣住民が日常的に見守りや助けあいを行い、必要に応じて福祉サービスへと結びつけるふれあいネットワーク活動を支援します。	社会福祉協議会
高齢者の孤立防止事業	地域で高齢者を見守り、支えあうため、地域の住民や事業者、関係機関による地域支援ネットワークづくりを推進します。	健康福祉局 地域ケア推進課
はいかい高齢者おかえり支援事業	徘徊のおそれがある人の情報を登録した上で、その人が行方不明となった場合に、身体的特徴や服装等の情報を「おかえり支援サポーター」等に対してメールで配信し、情報提供を依頼します。	健康福祉局 地域ケア推進課
青少年育成市民会議（地域の世話やき活動等の実施）	地域の青少年育成団体や関係業界団体などにより青少年育成市民会議を組織し、地域の大人が、登下校時に子どもたちを見守りながらあいさつ運動を行うなどの「地域の世話やき活動」をはじめとする青少年健全育成の取り組みを行います。	子ども青少年局 青少年家庭課
赤ちゃん訪問事業	地域と子育て家庭をつなぐ取り組みとして、主任児童委員等が乳児のいる家庭を訪問します。	子ども青少年局 子育て支援課
市営住宅ふれあい創出事業（高齢者見守り支援事業）	名古屋市内の市営住宅において、75歳以上の単身世帯、夫婦世帯等を対象として巡回員が定期的に電話連絡や戸別訪問を実施し、安否確認や簡易な生活相談等の支援を行います。	住宅都市局 住宅管理課
高齢者の見守り支援事業	ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯の方に対して、見守りのネットワークの調整など、一人ひとりの状況にあわせた支援を実施しています。	健康福祉局 地域ケア推進課
高齢者の見守り協力事業者登録事業	51ページで記載のとおり	健康福祉局 地域ケア推進課



■方策② 困ったときに支えあい助けあえる地域づくり

関連施策や事業等	概要	所管
地域支えあい事業	各学区で相談や調整を担う「ご近所ボランティアコーディネーター」を核に、ちょっとした困りごとを抱えた高齢者と、手助けをする地域のボランティアをつなぐ仕組みです。活動したボランティアにはボランティアポイントが付与されます。	健康福祉局 地域ケア推進課
コミュニティワーカーとしての地域支援	102ページで記載のとおり	社会福祉協議会
高齢者サロンの整備等生活支援推進事業	102ページで記載のとおり	健康福祉局 地域ケア推進課
助け合いの仕組みづくり	高齢者や障害者など地域の支援が必要な方々について、大きな災害が起こったときの安否確認や避難の方法をあらかじめ地域で話し合っておくための仕組みづくりです。	防災危機管理局 地域防災室 消防局消防課 健康福祉局 監査課
災害ボランティアコーディネーター養成講座	被災者とボランティアの橋渡しを行う災害ボランティアコーディネーターの養成を行います。	市民経済局 市民活動推進センター
災害時のボランティア活動支援	災害時におけるボランティア活動について、行政機関や16区に組織された災害ボランティア団体、NPO法人等で構成する「なごや災害ボランティア連絡会」に参画し、平常時から連携、基盤整備・強化を図るとともに、災害に強いまちづくりに向けた啓発や他地域の災害に対して必要に応じた支援を行います。	社会福祉協議会
福祉避難所の指定	指定避難所の福祉避難スペースでの避難生活が困難な人が避難する二次的な避難所である福祉避難所の指定をあらかじめ行います。	健康福祉局 監査課



■方策③ 様々な困りごとを丸ごと受け止め支える仕組みづくり

関連施策や事業等	概要		所管
相談窓口やサービスなどの情報提供	いきいき支援センター	62ページで記載のとおり	健康福祉局 地域ケア推進課
	障害者基幹相談支援センター		健康福祉局 障害者支援課
	地域子育て支援拠点事業		子ども青少年局 各課
	子育て総合相談窓口(子育て世代包括支援センター)		子ども青少年局 子育て支援課
	エリア支援保育所		子ども青少年局 保育運営課
高齢者いきいき相談室	63ページで記載のとおり		健康福祉局 地域ケア推進課
子ども・若者総合相談センター			子ども青少年局 青少年家庭課
若者サポートステーション			子ども青少年局 青少年家庭課
発達障害者支援センターりんくす名古屋			子ども青少年局 子ども福祉課
ひきこもり地域支援センター			健康福祉局 障害企画課
仕事・暮らし自立サポートセンター			健康福祉局 保護課
介護サービス事業者自己評価・ユーザー評価事業	介護サービスの問題点を把握し運営を改善するため、サービスの提供者と利用者がそれぞれ評価する事業を事業者団体と共催で実施します。		健康福祉局 介護保険課
介護事業所にかかる情報公表制度	利用者や家族が適切に介護事業所を選択できるよう、介護事業所から報告されたサービス内容等の情報を公表するとともに、公表内容を確認するための調査を実施します。		健康福祉局 介護保険課
障害福祉サービス等にかかる情報公表制度	利用者が個々のニーズに応じて良質なサービスを選択できるよう、障害福祉サービス事業者等から報告されたサービス内容等の情報を公表するとともに、公表内容を確認するための調査を実施します。		健康福祉局 障害者支援課
地域支えあい事業	104ページで記載のとおり	健康福祉局 地域ケア推進課	



関連施策や事業等	概要	所管
包括的な支援体制の推進	地域住民等及び支援関係機関による、地域福祉の推進のための相互の協力が円滑に行われ、地域生活課題の解決に資する支援が包括的に提供される体制を推進する。	健康福祉局 地域ケア推進課
自立相談支援・就労準備支援・家計相談支援事業、就労訓練事業	市内3か所（名駅・金山・大曾根）に設置する仕事・暮らし自立サポートセンターにおいて、下記の事業を一体的に実施しています。	健康福祉局 保護課
名称	内容	
自立相談支援事業	相談に幅広く対応するとともに、自立に向けて一人ひとりの状況にあわせた支援を実施するための計画の作成などを行います。	
住居確保給付金	離職などにより住居を失った方、または失うおそれのある方に有期で家賃相当額を給付します。	
家計改善支援事業	家計に課題を抱える方に対して、「家計の見える化」などを通じ、家計が計画的に管理できるよう支援を行います。	
就労準備支援事業	直ちに一般就労が困難な方に対して、就労に必要な能力向上のための支援を行います。	
就労訓練事業（中間的就労）の推進	一般就労への移行が困難な方に対して、状態に応じた就労の機会を提供する就労訓練事業の利用を促進するため、事業所の開拓や利用のあっせんなどを行います。	
自殺対策事業の推進	平成30年12月に策定した「いのちの支援なごやプラン（名古屋市自殺対策総合計画）」に基づき、自殺や精神疾患などの正しい知識の普及啓発等の「自殺の予防」、自殺の危険がある人のサインに気づき未然に防ぐ「自殺の防止」、 「自死遺族に対する支援」の3つの視点から総合的な自殺対策事業を推進します。	健康福祉局 障害企画課
民間賃貸住宅入居相談	栄住まいの窓口「住まいの相談コーナー」において、住宅探しでお困りの方を対象に居住支援法と連携し、民間賃貸住宅に関する入居相談を実施しています。	住宅都市局 住宅企画課



■方策④ 地域で安心して暮らし続けるための支援の仕組みづくり(権利擁護の推進)

関連施策や事業等	概要	所管
障害者・認知症高齢者権利擁護事業	75ページで記載のとおり	社会福祉協議会
成年後見あんしんセンター		健康福祉局 地域ケア推進課
法人後見センター		社会福祉協議会
消費生活センター		市民経済局 消費流通課
高齢者虐待相談センター	76ページで記載のとおり	健康福祉局 地域ケア推進課
障害者虐待相談センター		健康福祉局 障害企画課
児童相談所		子ども青少年局 児童相談所
児童家庭支援センター		子ども青少年局 子ども福祉課
配偶者暴力相談支援センター		子ども青少年局 子ども福祉課

■方策⑤ 多様な主体の参加促進

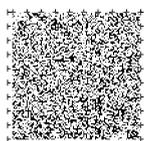
関連施策や事業等	概要	所管
鯉城学園	高齢者の生きがいの向上と社会参加の促進を図るため、60歳以上の方を対象に学習の場を提供します。	健康福祉局 高齢福祉課
生涯学習センター	1区に1館設置され、市民の生涯学習活動を支援します。	教育委員会 生涯学習課
地域支えあい事業	104ページで記載のとおり	健康福祉局 地域ケア推進課
市民活動推進センター	83ページで記載のとおり	市民経済局 市民活動推進センター
市・区社協ボランティアセンター	83ページで記載のとおり	社会福祉協議会
福祉教育・福祉学習	102ページで記載のとおり	社会福祉協議会
なごやか地域福祉・大学ラウンドテーブル	84ページで記載のとおり	健康福祉局 地域ケア推進課 社会福祉協議会



関連施策や事業等	概要	所管
地域福祉活動やボランティア、NPO活動を身近に感じる啓発事業	地域福祉活動やボランティア、NPO活動が活性化されるように、地域住民等を対象とした啓発事業を実施します。	健康福祉局 地域ケア推進課 市民経済局 市民活動推進センター 社会福祉協議会
社会福祉法人の地域における公益的な取り組みの推進	すべての社会福祉法人は、その高い公益性にかんがみ、地域の福祉ニーズ等を踏まえつつ、法人の自主性、創意工夫による多様な地域貢献活動を行います。	健康福祉局 子ども青少年局 各課
なごや・よりどころサポート事業	86ページで記載のとおり	社会福祉協議会

■方策⑥ 地域福祉の多様な支え手の活動支援

関連施策や事業等	概要	所管
コミュニティワーカーとしての専門的なアドバイスや支援	社会福祉協議会の職員がコミュニティワーカー（参考資料の用語解説を参照）として地域福祉推進にかかるアドバイスや支援を行います。	社会福祉協議会
地域支えあい事業	104ページで記載のとおり	健康福祉局 地域ケア推進課
コミュニティセンター	学習、情報交換のため気軽に集まれる場として、地域福祉活動や防災活動など生活を安定・向上させるための地域の活動の拠点です。	市民経済局 地域振興課
在宅サービスセンター	地域における福祉活動の推進と在宅保健福祉サービスの提供を総合的に推進するための拠点。活用例としては、ボランティアグループの連絡会議やサロンのような交流活動などがあります。	社会福祉協議会
文化センター	地域社会全体の中での福祉の向上や、人権啓発の住民交流の拠点となるコミュニティセンターとしての各種事業（生活相談・高齢者相談等の各種相談、人権に関わる啓発事業、保健福祉・教養文化等の各種講座・教室の開催）を実施しています。	市民経済局 人権施策推進室
高齢者サロンの整備等生活支援推進事業	102ページで記載のとおり	健康福祉局 地域ケア推進課



関連施策や事業等	概要	所管
子ども応援事業	次代を担う子どもたちが地域において他者との交流などを通じて主体性や社会性等を身につけることができる事業及び子育て支援の担い手を養成する事業に対して助成を行います。	社会福祉協議会
福祉基金	96ページで記載のとおり	社会福祉協議会

2 策定体制・策定の経過

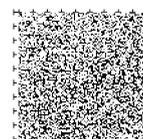
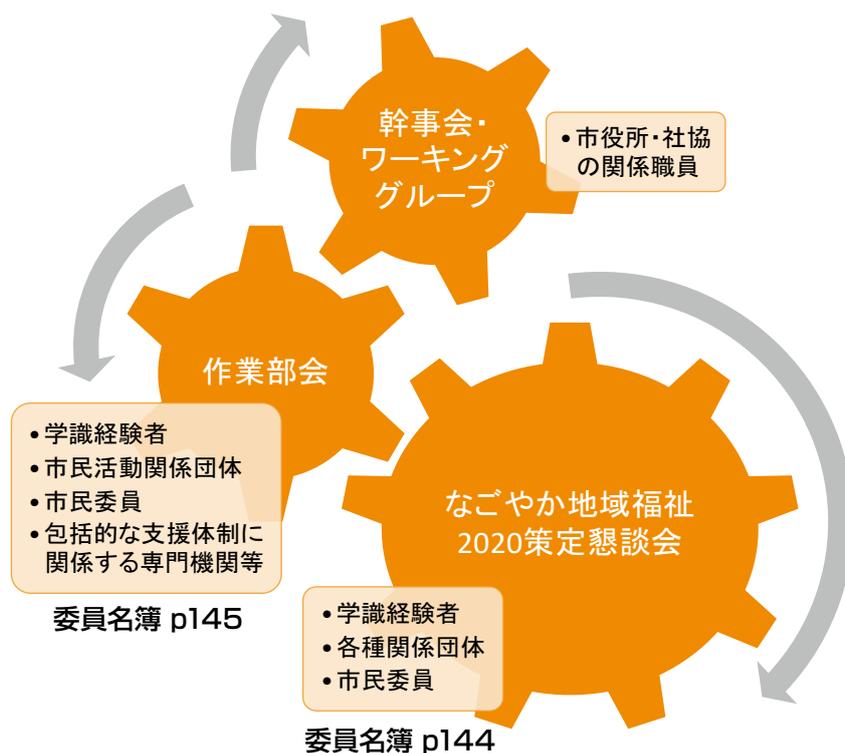
(1) 策定体制

「なごやか地域福祉2020（名古屋市地域福祉計画・名古屋市社会福祉協議会地域福祉推進計画）」策定懇談会・作業部会

- ・ 計画案に対する専門的見地からの意見聴取の場
- ・ 市民の代表として市民委員からの意見聴取の場

「なごやか地域福祉2020」策定幹事会・ワーキンググループ（市と市・区社協職員）

- ・ 行政内部や社協内部、行政と社協の意見調整
- ・ 策定懇談会、作業部会との調整
- ・ 各方面からの意見集約の準備・実施



(2) 策定懇談会・作業部会の開催状況

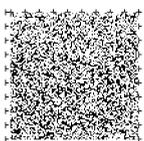
平成30年度

策定懇談会	作業部会
平成30年8月1日 第1回策定懇談会 1 会長及び職務代理者の選任 2 現行の計画について 3 新たな計画の策定について 等	平成30年9月12日 第1回作業部会 1 部会長及び職務代理者の選任 2 計画策定方針について 3 包括的な相談支援体制のモデル実施の検討 4 市民、関係団体等への意見聴取方法について 等 11～3月 地域福祉活動等の現場視察
平成31年3月22日 第2回策定懇談会 1 策定作業の経過報告等 2 包括的な相談支援体制構築に向けた調査 3 成年後見制度利用促進計画の策定について 等	平成31年2月18日 第2回作業部会 1 市民、関係団体等への意見聴取結果について 2 包括的な相談支援体制構築に向けた調査 等

令和元年度

策定懇談会	作業部会
令和元年9月11日 第3回策定懇談会 1 計画の文案 等	令和元年5月30日 第3回作業部会 1 計画策定のポイント 2 成年後見制度利用促進基本計画について 等 令和元年8月21日 第4回作業部会 1 計画の文案 2 成年後見制度利用促進基本計画について 等

※令和2年3月に予定していた第4回策定懇談会は中止



(3) 地域福祉活動等の現場視察

地域の先進的な地域福祉活動等を視察し、活動者との意見交換を行うことを目的として、作業部会の委員による現場視察を実施しました。

(4) 幹事会・ワーキンググループ

本計画の策定にあたっては、市と市・区社協の各部署の職員が一堂に介して、地域福祉に関して議論を行いました。

【参加部局】

防災危機管理局地域防災室

市民経済局企画経理課、地域商業課、市民活動推進センター

健康福祉局総務課、監査課、高齢福祉課、地域ケア推進課、介護保険課、障害企画課、障害者支援課、保護課、地域医療課

子ども青少年局企画経理課、子育て支援課、子ども福祉課

住宅都市局住宅企画課、住宅管理課

市社協、各区社協

【会議】

幹事会（各課課長級職員） 全6回

ワーキンググループ（各課係長級職員・主事等） 全6回

(5) なごやか地域福祉ニュースの発行

策定の経過をお知らせするため、原則隔月で、各区役所の情報コーナー及び市公式ホームページで配布しました。



3 アンケート結果

計画の策定にあたり、地域の福祉課題、ニーズを明らかにすることなどを目的として、市民や各学区で活動している各種団体・相談機関等に対するアンケートを実施しました。

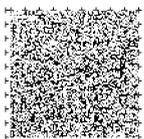
実施時期

●平成30年10月下旬～12月下旬

実施結果

【各対象アンケート】

対象		アンケート種別	配布数	回収数(回収率)
①市民		市政アンケート	2,000	935(46%)
関係団体等アンケート	②地域福祉推進協議会	推進協用	266	193(73%)
	③策定懇談会関係団体	関係団体用	32	27(84%)
	④社会福祉法人	社会福祉法人・NPO用	100	64(64%)
	⑤NPO法人		100	44(44%)
	⑥ボランティアグループ	ボランティア用	100	64(64%)
	⑦商店街	商店街等用	96	43(48%)
	⑧企業		100	33(33%)
	⑨大学		31	13(42%)
地域の福祉ニーズ調査	⑩いきいき支援センター	相談支援機関等用	29	26(90%)
	⑪障害者基幹相談支援センター		16	12(75%)
	⑫地域子育て支援拠点	子育て支援に関する相談支援機関等用	113	77(71%)
	⑬子育て総合相談窓口		16	14(88%)
	⑭エリア支援保育所		20	16(80%)
	⑮民生委員児童委員	民生委員児童委員用	266	234(88%)
合計			3,285	1,795(54%)



※各選択肢横にある()内の数字は回答割合です。
左側が平成30年度、右側が平成25年度です。

平成30年度市政アンケート調査【結果】

名古屋市中では、市民の誰もが住みなれた地域で安心して暮らせるよう、「なごやか地域福祉2015」を平成27年3月に策定し、地域福祉の推進に取り組んでまいりました。
今回の調査では、地域における助け合いや支え合いなどに関することをおたずねし、新たな計画(計画期間：平成27年度～36年度)を策定するための参考とさせていただきます。

＜身近な地域に対する意識・近所つきあいについて＞

問1 あなたが身近に感じる「地域」の範囲は、次のどの範囲ですか。(○は**1つだけ**)

1 名古屋市中心部	(10.6)	5 現在住んでいる町内	(29.8)
2 現在住んでいる区	(25.7)	6 隣近所	(8.0)
3 現在住んでいる中学校区	(6.1)	7 その他	(1.5)
4 現在住んでいる小学校区	(14.5)	(具体的に)	

問2 あなたは、ご近所(町内程度)の人と、どのようなつきあいをしていますか。(○は**1つだけ**)

1 困ったときにお互いに助け合っている	(8.0)	(8.5)
2 助け合うまではいかないが、親しく話をしている	(14.2)	(13.7)
3 たまに立ち話や世間話をしている	(19.7)	(23.6)
4 顔があればあいさつをしている	(46.3)	(45.8)
5 ほとんどつきあいはない	(9.6)	(7.1)

問3 あなたは、ご近所(町内程度)の「人と人とのつながり」は、どのようなになっていると思いますか。(○は**1つだけ**)

1 つながりが薄れてきていると思う	(43.7)	(68.2)
2 以前からつながりが薄いと思う	(40.5)	(14.8)
3 以前からつながりは強いと思う	(6.4)	(9.3)
4 つながりが強まってきていると思う	(2.7)	(0.9)
5 その他(具体的に)	(4.2)	(4.8)

問4 あなたは、ご近所(町内程度)の「人と人とのつながり」について、どのような関係が望ましいとお考えですか。(○は**1つだけ**)

1 困ったときにお互いに助け合う	(39.3)	(28.2)
2 助け合うまではいかないが、親しく話をしている	(21.3)	(31.5)
3 たまに立ち話や世間話をしている	(14.8)	(21.7)
4 顔があればあいさつをする	(20.4)	(16.1)
5 特につながりを持つ必要はない	(2.5)	(1.3)

問5 現在、あなたのご近所(町内程度)で、問題になっていると思うことは何ですか。(○は**いくつでも**)

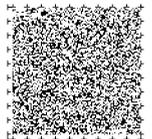
1 住民同士の交流する機会の減少	(24.1)	(24.3)
2 住民同士の助け合い意識の低下	(20.2)	(23.0)
3 地域の治安(防犯)	(21.2)	(28.8)
4 災害時に備えた対応や防災対策	(24.4)	(26.5)
5 地域の美化	(15.0)	(20.7)
6 高齢者世帯や障害者世帯への(見守りや生活等)支援	(16.8)	(20.5)
7 認知症による周辺症状に伴う近隣トラブル(徘徊など)	(4.0)	
8 子育て環境(子育ての孤立化など)	(9.9)	(16.1)
9 子どもの健全育成(非行やいじめ、子どもの貧困など)	(8.3)	(11.1)
10 地域での住みやすさの問題(商業施設の減少や放置された空き家の増加など)	(12.8)	
11 その他(具体的に)	(4.6)	(4.8)
12 特にない	(17.9)	(11.3)
13 分からない	(12.7)	(9.9)

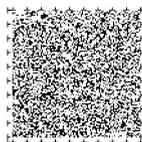
問6 あなたは、住民同士の「助け合い」として、何ができると思いますか。(○は**いくつでも**)

1 見かけたら声をかける	(68.6)	(79.0)
2 訪問して安否確認する	(8.1)	
3 電球の交換やゴミ出しなど短時間の手助けをする	(12.6)	
4 買い物や代わりをする	(4.9)	
5 庭の手入れを代わりにする	(2.2)	
6 世間話の話し相手になる	(23.0)	(47.4)
7 悩みごとや心配ごとの相談にのる	(9.8)	(17.1)
8 短時間子どもを預かる	(6.8)	(9.0)
9 災害発生時の声かけ・安否確認	(45.1)	
10 その他(具体的に)	(1.9)	(2.1)
11 何もできないと思う	(11.7)	(12.3)

問7 地域の困り事を住民同士が協力して問題解決する力は、ここ数年でどのように変化していると思いますか。(○は**1つだけ**)

1 高まっている	(0.6)	4 やや低下している	(17.2)
2 やや高まっている	(5.8)	5 低下している	(20.1)
3 変わらない	(28.6)	6 分からない	(26.5)





＜困り事と相談窓口について＞

問8 あなたが知っている相談機関を教えてください。(○はいくつでも)

高齢福祉	
1 いきいき支援センター (地域包括支援センター)	(36. 7)
2 認知症相談支援センター	(9. 0)
障害福祉	
3 名古屋市障害者基幹相談支援センター	(10. 2)
4 名古屋市障害者差別相談センター	(3. 0)
5 精神保健福祉センターこころほ	(4. 7)
児童福祉	
6 地域子育て支援拠点 (つどいの広場含む。)	(11. 4)
7 子ども・子育て支援センター	(21. 7)
8 地域子育て支援センター	(13. 6)
9 保健センターの子育て総合相談窓口 (子育て世代包括支援センター)	(12. 1)
10 子ども・若者総合相談センター	(2. 1)
権利擁護	
11 障害者・認知症高齢者権利擁護センター	(4. 4)
12 成年後見あんしんセンター	(4. 8)
13 児童相談所	(39. 6)
14 高齢者虐待相談センター・障害者虐待相談センター	(4. 8)
地域福祉その他	
15 社会福祉協議会	(27. 1)
16 仕事・暮らし自立サポートセンター	(8. 0)
無回答	(29. 5)

問9 あなたは、今までに自身や家族の福祉に関する困り事について、相談することのできる窓口や機関が分からなかったことがありますか。(○はいくつだけ)

1 ある (2. 2. 6)	2 ない (2. 3. 6)	3 困り事はなかった (4. 9. 5)
----------------	----------------	----------------------

問10 あなたが相談に行きやすい相談窓口は、次のどの範囲までですか。(○はいくつだけ)

1 市内	(16. 1)	4 小学校区内	(8. 4)
2 区内	(53. 7)	5 町内	(8. 4)
3 中学校区内	(5. 1)	6 その他 (具体的に:)	(2. 4)

問11 あなたは、以下の困り事を抱えたことがありますか。(○はいくつでも)

1 介護と育児の両方をしなくてはならぬ負担に感じる	(3. 5)
2 障害児 (者) の世話をしており、自身も年を重ね対応が難しくなっている	(2. 8)
3 高齢の親の世話をしており、自身も障害 (身体的、精神的等) がある	(3. 1)
4 上記1～3に加え、経済的な問題を抱えている	(1. 9)
5 その他複数の福祉に関する困り事を同時に抱えている (具体的に:)	(1. 7)
6 福祉に関する困り事はあるが、相談できる身近な人がいない	(4. 4)
7 福祉に関する困り事はあるが、誰にも相談する気になれない	(3. 0)
8 上記の中にはない	(68. 3)

＜地域での活動について＞

問12 あなたは、現在又はこれまでこれまでに地域での活動に、担い手 (お手伝い含む。) として参加したことがありますか。(○はいくつでも)

1 子ども会、老人クラブ、消防団、消防団、女性会などの地域活動 (3. 3. 7)	(24. 3)
2 民生委員・原簿委員、保健環境委員、区政協力委員の活動 (9. 9)	(8. 1)
3 地域住民同士の交流を目的とした地域のサークルやクラブの活動	(10. 6)
4 参加や活動をしたことがない	(50. 6)

問13 あなたは、地域での活動について、どのようにお考えですか。(○はいくつだけ)

1 参加したい (5. 3)	(3. 6)	3 条件が整えば参加したい
2 参加したくない (16. 3)	(10. 5)	⇒【問14へ】 (48. 1)
4 わからない	(25. 6)	(19. 3)

＜問13で2と答えた方におたずねします。＞

問14 あなたは、どのような条件であれば、地域での活動に参加しますか。(○はいくつでも)

1 興味のある活動内容であること	(60. 7)	(34. 3)
2 活動に伴う経済的負担がないこと	(37. 1)	(25. 7)
3 手伝って欲しいと誘われれば	(31. 6)	
4 一緒に活動する知人・友人がいること	(29. 3)	(27. 0)
5 活動団体や活動内容に関する詳しい情報が提供されていること (2. 3. 6)	(15. 4)	
6 信頼・尊敬できるリーダーがいること	(18. 0)	(15. 7)
7 家族や職場など周囲の理解が得られること	(23. 3)	(18. 2)
8 時間的に可能であること	(80. 9)	(60. 3)
9 活動に必要な知識を持っていること	(13. 3)	(10. 0)
10 その他 (具体的に:)	(0. 2)	(13. 9)

地域福祉推進協議会アンケート質問票【結果】

※各選択肢欄にある()内の数字は回答割合です。
左側が平成30年度、右側が平成25年度です。

I-1. 貴推進協の現在の状況についてお尋ねします

問1 貴推進協での、協議の場についてお尋ねします。
日ごろの活動の打合せや地域課題(地域の困りごと)等の解決に向けた話し合いは、どのような場や機会に行っていますか。(〇はいくつでも)

- 1 特に行っていない (10. 4)
- 2 学区の各種団体の連絡会に合わせ推進協の会議を開催する (44. 6) (56. 0)
- 3 定期的に推進協の会議を開催する(総会含む) (35. 8) (38. 5)
- 4 事業の前後に従事する推進協の構成員が会議を開催する (42. 5) (54. 4)
- 5 地域支えあい事業(※1)の活動連絡会議で行っている (25. 9)
- 6 その他() (8. 8) (9. 9)

※1 地域支えあい事業とは、ちよつとした困りごとを、住民ボランティアによるお助け活動により解決することで、地域力の向上をはかることを目的とした事業です。

【問1の2～6に〇をつけた方は、次の質問にお答えください。】

問2 問1の打合せや話し合いの場は年に何回ありますか？(上記で複数回答の場合はそれぞれの回数の合計になります) (〇は1つだけ)

- 1 年間、3回以下 (14. 2) (13. 4)
- 2 年間、4回～8回 (42. 6) (30. 2)
- 3 年間、9回～12回 (25. 4) (33. 4)
- 4 年間、13回以上 (14. 8) (19. 6)
- 5 その他() (1. 2) (0. 6)

問3 区社会福祉協議会(区社協)との連携について、どの程度行っていますか。

(〇はいくつでも)

- 1 地域で把握された問題について、必要の都度、相談している (63. 2) (54. 4)
- 2 年度の事業計画を作る際に相談している (25. 9) (30. 8)
- 3 必要な場合に、事業の企画・準備をする際に相談している (51. 8) (55. 5)
- 4 必要な場合に、事業の実施の際に職員に来てもらう (63. 2) (58. 8)
- 5 必要な場合に、事業実施後の反省会に職員に来てもらう (12. 4) (9. 9)
- 6 研修会等に参加し、それ以外では特に相談することはない (11. 9) (7. 1)
- 7 その他() (2. 1) (3. 8)

問4 貴推進協で力を入れて入れている活動や特色のある活動についてお尋ねします。
(〇はいくつでも)

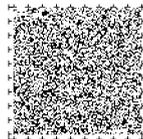
- 1 福祉ニーズ調査などの地域住民ニーズ把握活動 (3. 6) (3. 3)
- 2 広報紙の発行などの広報・啓発活動 (27. 5) (14. 8)
- 3 ふれあいネットワーク(※2)などの見守り活動 (36. 3) (19. 8)
- 4 ふれあい給食サービスなどのふれあい活動 (87. 6) (74. 2)
- 5 ふれあいいいきサロン(※3)活動 (73. 6) (29. 1)
- 6 子育てサロンなどの子育て支援活動 (81. 9) (66. 5)
- 7 学校と協力した福祉教育活動 (33. 2) (15. 4)
- 8 障害者・児と住民との交流活動 (7. 3) (0. 5)
- 9 ボランティアの育成活動 (8. 3) (3. 8)
- 10 地域支えあい事業など日常生活のちよつとした困りごとの相談受付や支援 (40. 4) (8. 2)
- 11 防災活動や災害時要援護者支援活動(※4) (30. 6) (11. 5)
- 12 地域支えあいまっぷづくり(※5)などの地域の実態把握活動(24. 9)
- 13 専門職との話し合いの場の設置 (6. 7)
- 14 その他() (3. 6) (6. 6)

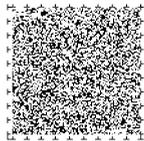
※2 ふれあいネットワークとは、日常的に援助を必要とする人を近隣の住民が連携して、日常的に見守り、助け合う活動です。

※3 ふれあいいいきサロンとは、地域の身近な場所に高齢者などが気軽に集まり、仲間づくりや生きがいづくりを行う活動です。子育てサロン(子育て中の親子を対象とした活動)については「16」と回答してください。

※4 災害時要援護者支援活動とは、高齢者、障害者、乳幼児、妊婦、傷病者、日本語が不自由な外国人など、災害時の一連の行動に対してハンディを負う方々を支援する活動です。

※5 地域支えあいまっぷづくりとは、白地図にひとり暮らし高齢者等気になる人の家に印をつけ、誰がどのような関わりをしているかを可視化することで、社会資源や地域課題を共有し、解決策を見出し、取り組めます。





問5 貴推進協で実施されている取り組みが、どのような効果をあげたと評価していますか。
(○は4つまで)

- 1 広報紙の発行や講座の開催により、住民の福祉に対する理解・関心が高まった (18. 1) (14. 8)
- 2 ふれあいネットワーク活動等の見守り活動により、対象となるひとり暮らし高齢者などの不安が少なくなった (20. 2) (24. 2)
- 3 ふれあいネットワーク活動等の見守り活動により、住民相互の連携が良くなった (20. 7) (17. 6)
- 4 ふれあい給食サービスなどのふれあい活動により、以前は閉じこもりがちだった人が、地域と関わりを持つようになった (65. 3) (70. 3)
- 5 ふれあい給食サービスなどのふれあい活動により、新たな住民が地域の福祉活動に参加するきっかけづくりになった (44. 6) (46. 2)
- 6 ふれあいいきいきサロン活動により、以前は閉じこもりがちだった人が、地域と関わりを持つようになった (55. 4) (30. 8)
- 7 ふれあいいきいきサロン活動により、新たな住民が地域の福祉活動に参加するきっかけづくりになった (38. 3) (18. 7)
- 8 高齢者や障害者、子ども等の交流活動の実施により、地域で日常的な交流が行われるようになった (15. 5) (24. 2)
- 9 様々な福祉活動の実施により、地域の福祉課題や困りごとが把握しやすくなった (16. 6) (19. 8)
- 10 様々な福祉活動の実施により、推進協を構成する団体間の連携が良くなった (13. 0) (20. 9)
- 11 ボランティアグループやNPO法人、福祉施設などの他団体と情報交換や協力して事業を実施することにより、他の団体との連携や幅広い事業の実施が可能となった (4. 7) (2. 7)
- 12 その他 () (4. 7)

問6 貴推進協が活動を行う時にどのような障害や問題点がありますか。
(○は3つまで)

- 1 活動場所の確保が難しい (7. 8) (11. 8)
- 2 活動資金の調達に苦労している (12. 4) (24. 2)
- 3 活動メンバーや運営スタッフが不足している (37. 3) (29. 8)
- 4 活動メンバーや運営スタッフが固定している (58. 0) (50. 3)
- 5 活動メンバーや運営スタッフの活動意欲の維持が難しい (14. 5) (31. 1)
- 6 活動がマンネリ化して広がらない (22. 8) (29. 2)
- 7 活動に関する助言を求めたいが、相談先がない、もしくは分からない (0. 5)
- 8 活動に対する地域住民の理解が不足している (26. 9) (41. 0)
- 9 構成団体間の連携が不十分である (9. 3) (18. 0)
- 10 構成団体以外の関連団体との連携が不十分である (6. 7) (9. 3)
- 11 地域住民に対して活動に関する情報の発信が不十分である (19. 7) (22. 4)
- 12 地域で活動する機会を得るのが難しい (3. 1)
- 13 その他 () (7. 8) (9. 9)

問7 貴推進協では、災害時における地域の安全や安心などについて、何か実施されていることがありますか。(○は1つだけ)

- 1 推進協メンバーや見守り対象者の安否を確認することになっている (8. 3)
- 2 地域に提供可能な物資や場所の用意がある (7. 3)
- 3 「助け合いの仕組みづくり」(※6)の取り組みに協力している (13. 0)
- 4 推進協活動を継続させるための計画やマニュアルを作成して、災害時に備えている (0. 5) (1. 1)
- 5 推進協としての活動計画はないが、区政協力委員会や民生委員協議会、自主防災組織等でそれぞれ救助活動をしている (51. 7) (50. 6)
- 6 今後、どのような活動をしていくか検討していきたい (9. 3) (13. 7)
- 7 災害時等は、活動を行わない (2. 6) (0. 5)

※6 「助け合いの仕組みづくり」とは、地域の自主的な活動として、災害時に支援が必要な住民を把握し、その方を支援する個別計画を予め決めておくことにより、災害時に迅速な安否確認や避難支援を行うるようになります。

1-2. 今後の取り組みについて、お尋ねします

問8 いわゆる社会的に孤立した人や世帯は、生活課題が深刻化する場合が少なくなくと
言われています。地域において社会的孤立を防止するために何が必要だと思われ
ますか。
(○は3つまで)

- 1 地域住民の理解・関心を高めるための活動 (25. 4) (32. 4)
- 2 閉じこもりがちがちな人や孤立しがちな人(世帯)の情報の把握 (57. 0) (58. 8)
- 3 ふれあい・いきいきサロンなど、住民同士の交流を促進する活動 (37. 3)
- 4 地域住民による日常的な見守り、助け合い活動 (52. 3) (72. 5)
- 5 地域で見守りや助け合い活動を行う地域住民と区役所や専門機関との連携 (25. 9) (50. 5)
- 6 地域で交流づくりの活動を行う地域住民とボランティアグループ・NPOとの連携 (6. 2) (2. 2)
- 7 身近に相談できる相談場所の設置、周知 (15. 5) (13. 2)
- 8 地域住民だけでは対応が困難な事案について、直接訪問するなどの支援を行う専門
職員の配置 (33. 2) (22. 0)
- 9 地域の課題や支援が必要な世帯への対応策を話し合う場 (8. 8)

問9 社会的孤立を防止するために、貴団体が見守り活動などの取り組みを行うとしたら、
どのような障害や問題点があると思われますか。(○は3つまで)

- 1 見守り活動を行う団体の人員が不足している (26. 9) (15. 9)
- 2 個人情報保護の意識の高まりにより、対象者の把握が難しい (68. 9)
- 3 団体間の個人情報ややり取りが難しい (19. 2)
- 4 個人情報を管理することが難しい (15. 5)
- 5 地域つながりが薄れ、対象者の把握が難しい (35. 8)
- 6 見守りを拒否する人への対応 (38. 3) (51. 1)
- 7 オートロックのマンションなどセキュリティにより見守り活動が難しい (37. 3) (43. 4)
- 8 地域住民とその活動を支援する専門職員との連携が不十分 (7. 8)
- 9 見守り活動で応答がないなど異常を発見した際の対応など活動のための相談窓口や
支援する専門職員が不足している (9. 3)

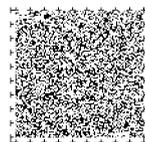
問1 貴推進協にとって事業を実施する担い手(スタッフ)の確保が重要だと思われ
ますが、どのよ
うに対応をお考えですか。(○はいくつでも)

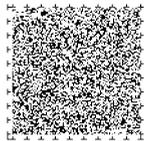
- 1 推進協の構成団体の会員から新たな担い手を募る(募っている) (47. 7) (54. 9)
- 2 推進協の構成員に個人ボランティアやボランティアグループを入れる (入っている) (36. 8) (20. 3)
- 3 事業に合わせて、協力を募集する(募集している) (50. 8) (42. 3)
- 4 ボランティアグループやNPO法人、福祉施設等と協力して事業を実施する(実施してい
る) (18. 1) (10. 4)
- 5 事業を実施する上で、現在の担い手で十分である (6. 7) (10. 4)
- 6 その他 () (7. 8) (9. 3)

問2 最近、地域において様々な団体や企業等が福祉に関わっていますが、貴推進協では、ど
のような団体や企業との協力、情報交換が必要と考えられますか。(○はいくつでも)

- 1 各学区の地域福祉推進協議会 (52. 8) (36. 8)
- 2 ボランティアグループ (30. 6) (31. 3)
- 3 NPO法人 (12. 4) (9. 9)
- 4 社会福祉法人 (39. 4)
- 5 介護保険サービスや障害者総合支援法 (18. 7) (15. 9)
- 6 医療機関に基づくサービスなどに関わる民間業者 (23. 8)
- 7 商店街 (11. 9)
- 8 地元企業 (15. 5)
- 9 スーパーマーケット・コンビニ (11. 4)
- 10 喫茶店 (8. 8)
- 11 新聞販売店 (43. 5)
- 12 趣味の活動を行うグループ(スポーツ、娯楽、文化、歴史、まちづくりなど) (23. 3) (46. 5)
- 13 大学 (8. 8)
- 14 小中学校・高等学校 (37. 3)
- 15 保育園・幼稚園 (19. 2)
- 16 その他 () (3. 1) (5. 5)

問3 他の団体等との協力について課題と思われることがあればお書きください。





問4 推進協の事業に限らず、住民の参加による地域での取り組みとして、どのような活動が重要と思われるか。(〇は3つまで)

- 1 地域で孤立する人びとを見守る、ふれあいネットワーク活動 (3.5. 2) (4.5. 1)
- 2 閉じこもりがちな高齢者のための、ふれあいいきいきサロン活動 (3.7. 8) (3.5. 7) (5. 2) (7. 7)
- 3 障害児・者と地域住民の理解を深める交流活動 (3.6. 3) (3.9. 0)
- 4 子育て世代のための子育てサロン活動 (2.16. 6) (1.4. 3)
- 5 子どもたちに福祉の理解を深め、福祉の心を育てる活動 (3.6) (2. 7)
- 6 傷病等による臨時的な援助が必要な世帯への緊急時の援助活動 (2.3. 3) (3.0. 2)
- 7 高齢者・親・子などの理解を深める世代間の交流活動 (3.1. 6) (2.4. 7)
- 8 地域の新しい担い手を育てるボランティアの養成 (2.2. 8) (2.1. 4)
- 9 日常生活のちょっとした困りごとの支援 (2.1. 8) (4.5. 6) (5. 7)
- 10 防災活動や災害時要援護者支援の活動 (1.0. 9)
- 11 住民同士や住民と専門機関などが話し合える場づくり (5. 2)
- 12 身近な地域で困りごとの相談を受け止める窓口の設置 (6. 7)
- 13 子どもを中心に地域をつなぐ子ども食堂活動 (1. 0) (1. 6)
- 14 移動販売などの買い物支援活動
- 15 その他 ()

II. 地域の困り事について、お尋ねします

問1 現在、貴団体の活動地域で問題になっていると思うことは何ですか。

(〇はいくつでも)

- 1 住民同士の交流する機会の減少 (3.4. 7)
- 2 住民同士の助け合い意識の低下 (4.5. 1)
- 3 地域の治安 (防犯) (1.5. 0)
- 4 災害時に備えた対応や防災対策 (4.5. 6)
- 5 地域の美化 (8. 3)
- 6 高齢者世帯や障害者世帯への(見守りや生活等)支援 (2.6. 9)
- 7 認知症による周辺症状に伴う近隣トラブル (徘徊など) (1.0. 9)
- 8 子育て環境 (子育ての孤立化など) (8. 3)
- 9 子どもの健全育成 (非行やいじめ、子どもの貧困など) (1.0. 9)
- 10 地域での住みやすさの問題 (商業施設の減少や放置された空き家の増加など) (2.3. 8)
- 11 その他 (具体的に:) (5. 7)
- 12 特にない (8. 8)
- 13 分からない (1. 6)

問2 地域の困りごとを地域住民の課題として、住民同士が協力して解決する力は、ここ数年でどのようになっているか、お尋ねします。(〇は1つだけ)

- 1 高まっている (5. 7) (2.8. 6)
- 2 やや高まっている (2.8. 5)
- 3 変わらない (3.0. 6) (5.3. 9)
- 4 やや低下している (1.5. 0)
- 5 低下している (9. 8) (9. 9)
- 6 わからない (5. 2) (4. 9)

問3 地域の困りごとを地域住民の課題として、住民同士が協力して解決する力を高めるために、何が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

- 1 地域福祉ニーズに対応する団体の情報の地域への発信 (3.0. 1)
- 2 活動者への研修等の開催 (9. 8)
- 3 専門機関 (専門職員) のアドバイス (9. 3)
- 4 地域団体やボランティア・NPOと顔の見える関係づくり (1.4. 5)
- 5 身近に相談できる人や場所の存在 (4.2. 5)
- 6 元気な高齢者が担い手となるための取り組み (4.4. 0)
- 7 学生などの若者が担い手として参加するための取り組み (3.1. 1)
- 8 社会福祉法人 (福祉施設等)、商店や企業等の地域貢献による支援 (5. 7)
- 9 住民が話し合う場 (1.3. 5)
- 10 地域住民の福祉意識を高めるための取り組み (4.1. 5)

問4 以下の事項の課題を抱える人や世帯を把握し、支援した又は他の機関等へのつなぎを行ったことはありますか。(問①～⑭すべての項目について回答してください。)

事項	把握状況		(ある場合)対応状況	
	ある	ない	自ら支援した	他機関等へつなげた
① 介護と子育てを同時にしており、介護・育児負担を感じている人や世帯(いわゆるダブルケア)	19	144	15.8	73.7
② 高齢者と障害者の同居世帯で複数の課題を抱えている人や世帯	61	103	23.0	57.4
③ 高齢の親が障害のある子どもの介護をしており、支援が必要と思われる人	44	116	15.9	70.5
④ ①～③以外で、複数の課題を抱えている人や世帯	40	119	25.0	67.5
⑤ 支援拒否や自ら相談や利用申請等ができていない人や世帯	68	91	14.7	55.9
⑥ 生活に困窮しており、支援が必要と思われる人や世帯	63	99	11.1	88.9
⑦ 住まいの確保など居住に課題を抱えた人や世帯	37	124	13.5	70.3
⑧ 精神疾患を抱えている人や又は抱えていると思われるが、どこにも相談していない人	35	124	25.7	54.3
⑨ 支援が必要な障害がある又はあると思われるが、障害者手帳を取得していない人	21	138	9.5	71.4
⑩ 判断能力が不十分であることにより成年後見などの権利擁護を必要としている人や世帯(消費者被害など)	30	128	16.7	90.0
⑪ 虐待の問題を抱えている人や世帯	31	128	16.1	80.6
⑫ 刑務所から出所した人などであって、福祉的な支援を必要としている人	13	146	30.8	61.5
⑬ 入所施設や病院等から退所・退院した人であって、地域から孤立している人	34	127	23.5	73.5
⑭ 外国人であって、地域とのつながりが持たず、地域から孤立している人	17	140	29.4	47.1

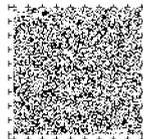
※自ら(の機関等)のみで支援したケースは、「自ら支援した」に○をつけてください。
 ※他の機関等につないで自らも連携に参加した場合、「他機関等につないで」に含めます。
 ※複数の対応したケースがある場合は、該当する対応結果のすべてに○をつけてください。

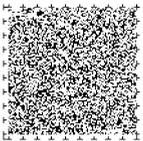
問5 前のページの問4のほか、複合的な課題や現状の制度の中で対応が困難な課題を抱えているケースがありましたら、ご記入ください。

問6 複合的な課題を抱えた人や世帯又は支援を拒否している人や世帯について、誰もしくはどういう機関・団体に連携をしましたか。または、連携を期待しますか。
 (○)はいくつでも

機関・団体の名称	連携したことがある	今後連携を期待する
例：連携したことはないが、今後期待する場合	→	○
① 公的機関(区役所・保健センター、児童相談所など)	53.4	26.9
② 社会福祉協議会	50.8	26.9
③ いまいき支援センター	58.0	28.5
④ 障害者基幹相談支援センター	11.4	29.0
⑤ 地域子育て支援拠点(※)	14.5	24.9
⑥ 子育て総合相談窓口(子育て世代包括支援センター)	7.8	28.0
⑦ 仕事・暮らし自立サポートセンター	5.2	33.2
⑧ 成年後見あんしんセンター	7.3	26.4
⑨ 高齢者虐待相談センター・障害者虐待相談センター	1.0	30.1
⑩ 障害者・認知症高齢者権利擁護センター	5.2	30.1
⑪ 地域団体(地域福祉推進協議会など)	32.6	17.6
⑫ ボランティア	20.2	18.1
⑬ NPO	9.3	18.7
⑭ 家族・親族	33.7	19.2
⑮ 隣近所の人	37.3	22.3
⑯ 民生委員・児童委員(主任児童委員)	56.9	22.8
⑰ 居宅介護支援事業所・相談支援事業所等	18.7	26.4
⑱ 訪問介護や通所介護等のサービス事業所	26.4	25.4
⑲ 医療機関(病院など)	21.2	26.9
⑳ 知人・友人	22.3	16.1
㉑ その他()	1.0	2.6

(※)つどいの広場、子ども・子育て支援センター、地域子育て支援センター、児童館





問7 複合的な課題を抱えた人や世帯又は支援を拒否している人や世帯について、対応できる専門機関や地域団体、ボランティア、NPOなど必要な機関等の十分な情報を持っていますか。

(○は1つだけ)

- 1 十分持っている (7. 8) (1. 6)
- 2 少し持っている (50. 7) (51. 7)
- 3 持っていない (33. 7) (34. 1)

問8 複合的な課題を抱えた人や世帯又は支援を拒否している人や世帯について、援助を求められ、対応できなかった(又は対応できそうもない)場合、その原因は何だと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 対応できるサービス・活動する団体の情報がないこと (29. 5) (46. 7)
- 2 相談できる窓口が分からないこと (18. 7) (28. 6)
- 3 世帯全体への支援を包括的に進捗管理する機関等がないこと (26. 9)
- 4 地域住民の協力が得られなかったこと (13. 5) (23. 1)
- 5 対応できるサービス・活動する団体がないこと (15. 5) (20. 3)
- 6 対応するための時間がとれなかったこと (10. 9) (9. 3)
- 7 関係機関との連携がとれなかったこと (8. 3) (18. 1)
- 8 本来業務の範囲を超えるものであること (24. 9)
- 9 対応できなかった(又はできそうもない) ことはない (10. 4)

問9 地域における福祉や保健に関する活動のあり方について、日頃の活動を通して感じていることなどをご自由にお書きください。

関係団体（策定懇談会関係団体、社会福祉法人、NPO法人、ボランティア）
アンケート質問票【結果】 ※各選択肢横にある（ ）内の数字は回答割合です。
左側が平成30年度、右側が平成25年度です。

I. 貴法人の地域における活動についてお尋ねします。

問1 貴団体の活動は、どの範囲の地域住民と関わっていますか。(○は**1つだけ**)

- 1 小学校区内 (18.3) (7.5)
- 2 中学校区内 (14.7)
- 3 区内 (20.2) (36.7)
- 4 名古屋市全体 (19.3) (25.8)
- 5 愛知県内 (12.8)
- 6 その他 (7.3) (17.5)
- 7 特に関わっていない (9.2)

問2【前のページの問1で「7」が○であった場合は、問3の回答へ移動】

貴団体の地域との関わり方は、どのようなものですか。(○は**いくつでも**)

- 1 本来業務そのものが地域住民を対象としている (46.9) (51.7)
- 2 本来業務の一部が地域住民を対象としている (18.4) (22.5)
- 3 地域住民を対象とした行事を開催している (32.7) (32.5)
- 4 地域での行事等に参加している (45.9) (52.5)
- 5 地域住民が行う活動に対し、場所、資金又は物資等の支援をしている (21.4)
- 6 その他 (6.1) (18.3)

問3 地域において様々な団体や企業等が福祉に関わっていますが、貴団体では、どのような団体や企業等と協力して事業を実施したり、情報交換を行うことが必要と考
えていますか。(○は**いくつでも**)

- 1 各学区の地域福祉推進協議会 (50.5) (44.2)
- 2 区政協力委員会 (31.2) (30.8)
- 3 民生委員・児童委員協議会 (54.1) (45.0)
- 4 保健環境委員会 (16.5) 5 女性会 (12.8)
- 6 老人クラブ (21.1) (24.2)
- 7 子ども会 (17.4) 8 消防団 (19.3)
- 9 町内会・自治会 (55.0)
- 10 ボランティアグループ (34.2) (47.5)
- 11 NPO (31.2) (24.2)
- 12 社会福祉法人 (44.0) (42.5)
- 13 介護保険サービスや障害者総合支援法に基づくサービスなどに関わる民間業者

- 14 医療機関 (55.0) 15 商店街 (18.3)
- 16 地元企業 (19.3) 17 スーパーマーケット・コンビニ (13.8)
- 18 喫茶店 (5.5) 19 新聞販売店 (8.3)
- 20 趣味の活動を行うグループ（スポーツ、娯楽、文化、歴史、まちづくりなど）
(13.8) (23.3)
- 21 大学 (28.4) 22 小中学校・高等学校 (53.2)
- 23 保育園・幼稚園 (41.3) 24 PTA (8.3)
- 25 その他 (8.3) (11.7)

問4 地域住民や地域の各種団体との関わりを特に意識して活動しておられますか。

(○は**1つだけ**)

- 1 強く意識している (30.3) (32.5)
- 2 意識している (47.7) (42.5)
- 3 あまり意識していない (18.3) (20.8)
- 4 全く意識していない (2.8) (2.5)

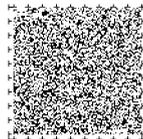
問4-2 貴法人（組合）では、地域との関わりについて、どのようなにお考えですか。

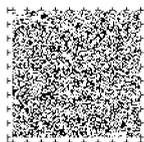
(○は**いくつでも**)

- 1 地域で催される祭りの行事に参加する等、地域との関わりをつくっていき
たい (58.7)
- 2 例えば、配達の最中に見守りを行うなど、日頃の本来業務に付随して貢献でき
ることがあれば、協力をしていきたい (16.5)
- 3 地域住民が行う福祉的な活動に、必要な場所や物を提供していきたい (38.5)
- 4 地域住民が行う福祉的な活動に、資金面で支援を行いたい (6.4)
- 5 地域住民が行う福祉的な活動に、職員（学生）も一緒に参加させたい (32.1)
- 6 特に考えていない (13.8)

問4-3 貴法人（組合）が地域活動や社会貢献活動などを行う上で、どのような支援
があればよいと思いますか。(○は**3つまで**)

- 1 活動を行っている法人（組合）同士の情報交換会の開催や事例集等の作成 (37.6)
- 2 地域福祉全般のニーズや国の動向等がわかる研修会等の開催 (30.3)
- 3 支援を必要としている地域や内容の情報提供 (61.5)
- 4 支援を必要としている地域と支援をしたい法人（組合）のマッチングをする
相談窓口 (26.6)
- 5 活動を行った法人（組合）の成果のPRにかかる支援（場の提供など） (9.2)
- 6 その他 (7.3)





- 問5 今後の福祉活動は、住民同士の助け合い、支え合いなど住民の意識の啓発や向上が求められます。貴団体ではそのための新たな活動について、どのようにお考えですか。(○は**1つだけ**)
- 1 課題に対応した活動を自ら実施したい (2.1.1) (2.8.3)
 - 2 他団体の取り組みを期待し、側面的に連携していきたい (9.2) (7.5)
 - 3 新たな活動の財源が確保されれば実施したい (2.1.1) (1.1.7)
 - 4 新たな活動が必要であると思うが、現在の活動で手一杯であり実施は難しい (4.1.3) (2.5.0)
 - 5 団体としての活動は十分実施しており、新たな活動の必要性を感じない (1.8) (9.2)
 - 6 その他 (4.6) (8.3)
- 問6 貴団体が地域で活動をする時にどのような障害や問題点がありますか。(○は**3つまで**)
- 1 活動場所の確保が難しい (1.5.6) (2.2.5)
 - 2 活動資金の調達に苦労している (3.2.1) (3.2.5)
 - 3 活動メンバーや運営スタッフが不足している (6.3.3) (3.8.3)
 - 4 活動メンバーや運営スタッフが固定、人事が硬直化している (9.2) (2.3.3)
 - 5 活動メンバーや運営スタッフの活動意欲の維持が難しい (1.1.0) (2.0.8)
 - 6 活動がマンネリ化して広がらない (6.4) (1.3.3)
 - 7 活動に関する助言を求めたいが、相談先がない、もしくは分からない (7.3)
 - 8 活動に対する周囲の理解が不足している (6.4) (2.3.3)
 - 9 団体内の連携が不十分である (5.5) (7.5)
 - 10 関連団体との連携が不十分である (1.3.8) (2.0.0)
 - 11 地域住民に対して活動に関する情報の発信が不十分である (1.5.6) (3.9.2)
 - 12 地域の情報や活動する機会を得るのが難しい (1.2.8) (1.4.2)
 - 13 その他 (6.4) (1.7.5)
- 問7 団体独自で、災害時における地域の安全や安心などについて、何か実施していることがありますか。(○は**いくつでも**)
- 1 団体活動の利用者や職員等関係者の安否を確認することになっている (4.8.6)
 - 2 地域に提供可能な物資や場所の用意がある (2.7.5)
 - 3 「助け合いの仕組みづくり」(※)の取り組みに協力している (5.5)

- 4 団体活動を継続させるための計画やマニュアルを作成して、災害時に備えている (2.9.4) (8.3)
 - 5 今後、どのような活動をしていくか検討していきたい (3.2.1) (2.5.0)
 - 6 災害時等は、活動を行わない (1.5.6) (1.9.2)
- ※ 「助け合いの仕組みづくり」とは、地域の自主的な活動として、災害時に支援が必要な住民を把握し、その方を支援する個別計画を予め決めておくことにより、災害時に迅速な安否確認や避難支援を行うようにするものです。
- 問8 いわゆる社会的に孤立した人や世帯が抱えている課題が深刻化する場合があります。地域において社会的孤立を防止するために何が必要だと思いますか。(○は**3つまで**)
- 1 地域住民の理解を得るための啓発活動 (1.9.3) (2.1.7)
 - 2 閉じこもりがちがちな人や孤立しがちな人(世帯)の情報の把握 (3.8.5) (4.6.7)
 - 3 サロンなどの地域住民の交流を促進する活動 (2.9.4)
 - 4 地域住民による日常的な見守り、助け合い活動 (4.0.4) (6.0.0)
 - 5 地域で見守り、助け合い活動などを行う地域住民と区役所や専門機関との連携 (3.9.4) (3.0.8)
 - 6 地域で交流づくりの活動などを行う地域住民とボランティアグループ・NPOとの連携 (2.0.2) (1.4.2)
 - 7 地域で身近に相談のできる相談場所の設置 (2.6.6) (2.3.3)
 - 8 地域住民だけでは対応が困難な事案について、直接訪問するなどの支援を行う専門職員の配置 (3.7.6) (2.0.8)
- 問9 社会的孤立を防止するために、貴団体が見守り活動などの取り組みを行うとすれば、どのような障害や問題点があると思われますか。(○は**3つまで**)
- 1 見守り活動を行う団体の人員が不足している (6.5.1)
 - 2 個人情報保護の意識の高まりにより、対象者の把握が難しい (4.5.9)
 - 3 団体間の個人情報のやり取りが難しい (8.3)
 - 4 個人情報を管理することが難しい (1.8.3)
 - 5 地域のつながりが薄れ、対象者の把握が難しい (2.4.8)
 - 6 見守りを拒否する人への対応 (2.0.2) (4.2.5)
 - 7 オートロックのマンションなどセキュリティにより見守り活動が難しい (9.2) (1.9.2)
 - 8 地域住民とその活動を支援する専門職員との連携が不十分 (1.5.6)
 - 9 見守り活動で応答がないなど異常を発見した際の対応など活動のための相談窓口や支援する専門職員が不足している (2.0.2)

<社会福祉法人・NPO、ボランティアグループ>

II. 地域の困り事について、お尋ねします

問1 現在、貴学区で問題になっていると思うことは何ですか。

(○はいくつでも)

- 1 住民同士の交流する機会の減少 (24. 8)
- 2 住民同士の助け合い意識の低下 (25. 7)
- 3 地域の治安 (防犯) (11. 0)
- 4 災害時に備えた対応や防災対策 (25. 7)
- 5 地域の美化 (0. 0)
- 6 高齢者世帯や障害者世帯への(見守りや生活等)支援 (33. 9)
- 7 認知症による周辺症状に伴う近隣トラブル (徘徊など) (8. 3)
- 8 子育て環境 (子育ての孤立化など) (17. 4)
- 9 子どもの健全育成 (非行やいじめ、子どもの貧困など) (15. 6)
- 10 地域での住みやすさの問題 (商業施設の減少や放置された空き家の増加など) (9. 2)
- 11 その他 (具体的に:) (5. 5)
- 12 特にない (7. 3)
- 13 分からない (14. 7)

問2 地域の困り事を地域住民の課題として、住民同士が協力して問題解決する力は、ここ数年でどのようになっていると思いますか。(○は1つだけ)

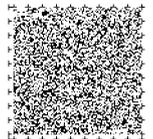
- 1 高まっている (0. 0) (20. 0)
- 2 やや高まってきている (14. 7)
- 3 変わらない (25. 7) (39. 1)
- 4 やや低下している (12. 8)
- 5 低下している (17. 4) (11. 7)
- 6 わからない (27. 6) (25. 0)

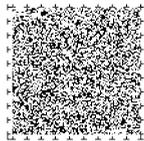
問3 地域の困り事を地域住民の課題として、住民同士が協力して問題解決する力を高めるためには、何が必要だと思いますか。(○は3つまで)

- 1 地域福祉ニーズに対応する団体の情報の地域への発信 (22. 9)
- 2 活動者への研修等の開催 (9. 2)
- 3 専門機関 (専門職員) のアドバイス (14. 7)
- 4 地域団体やボランティア・NPOと顔の見える関係づくり (36. 7)
- 5 身近に相談できる人や場所の存在 (47. 7)
- 6 元気な高齢者が担い手となるための取り組み (30. 3)
- 7 学生などの若者が担い手として参加するための取り組み (21. 1)
- 8 社会福祉法人、商店や企業等の地域貢献による支援 (7. 3)
- 9 住民が話し合う場 (12. 8)
- 10 地域住民の福祉意識を高めるための啓発 (33. 0)

問4 以下の事項の課題を抱える人や世帯を把握し、支援した又は他の機関等へのつなぎを行ったことはありますか。(問①~⑭すべての項目について回答してください。)

事項	把握状況		対応状況	
	ある	ない	自ら支援した	他機関等へつないだ
※自ら (の機関等) のみで支援したケースは、「自ら支援した」に○をつけてください。 ※他の機関等につないで自らも連携に参加した場合、「他機関等へつないだ」に含めます。 ※複数の対応したケースがある場合は、該当する対応結果のすべてに○をつけてください。				
① 介護と子育てを同時にしており、介護・育児負担を感じている人や世帯 (いわゆるダブルケア)	29	70	72. 4	51. 7
② 高齢者と障害者の同居世帯で複数の課題を抱えている人や世帯	42	58	69. 0	66. 7
③ 高齢の親が障害のある子どもの介護をされており、支援が必要と思われる人や世帯	35	64	82. 9	68. 6
④ ①~③以外で、複数の課題を抱えている人や世帯	31	64	58. 1	61. 3
⑤ 支援拒否や自ら相談や利用申請等ができない人や世帯	36	64	55. 6	63. 9
⑥ 生活に困窮しており、支援が必要と思われる人や世帯	43	54	48. 8	65. 1
⑦ 住まいの確保など居住に課題を抱えた人や世帯	27	70	77. 8	55. 6
⑧ 精神疾患を抱えている人や抱えていないと思われ、どこにも相談していない人	32	67	53. 1	71. 9
⑨ 支援が必要な障害がある又はあると思われ、障害者手帳を取得していない人	35	63	60. 0	65. 7
⑩ 判断能力が不十分であることにより成年後見などの権利保護を必要としている人や世帯 (消費者被害など)	33	67	60. 6	66. 7
⑪ 虐待の問題を抱えている人や世帯	47	50	70. 2	72. 3
⑫ 刑務所から出所した人などであって、福祉的な支援を必要としている人	15	83	73. 3	33. 3
⑬ 入所施設や病院等から退所・退院した人であって、地域から孤立している人	29	70	82. 8	55. 2
⑭ 外国人であって、地域とのつながりが持たず、地域から孤立している人	13	85	76. 9	53. 8





問5 前のページの問4のほか、複合的な課題や現状の制度の中で対応が困難な課題を抱えているケースがありましたら、ご記入ください。

--

問6 複合的な課題を抱えた人や世帯又は支援を拒否している人や世帯について、誰もしくはどのような機関・団体に連携をしましたか。または、連携を期待しますか。(①～⑳すべての項目について回答してください。)

機関・団体の名称	連携したことがある	今後連携を期待する
例：連携したことはないが、今後期待する場合	×	○
① 公的機関 (区役所・保健センター、児童相談所など)	69.7	33.9
② 社会福祉協議会	41.3	38.5
③ いきいき支援センター	35.8	31.2
④ 障害者基幹相談支援センター	36.7	31.2
⑤ 地域子育て支援拠点 (※)	19.3	37.6
⑥ 子育て総合相談窓口 (子育て世代包括支援センター)	6.4	45.0
⑦ 仕事・暮らし自立サポートセンター	11.0	35.8
⑧ 成年後見あんしんセンター	19.3	38.5
⑨ 高齢者虐待相談センター・障害者虐待相談センター	12.8	37.6
⑩ 障害者・認知症高齢者権利擁護センター	19.3	37.6
⑪ 地域団体 (地域福祉推進協議会など)	24.8	36.7
⑫ ボランティア	40.4	31.2
⑬ NPO	35.8	27.5
⑭ 家族・親族	55.1	29.4
⑮ 隣近所の人	36.7	28.4
⑯ 民生委員・児童委員 (主任児童委員)	42.2	33.9
⑰ 居宅介護支援事業所・相談支援事業所等	44.9	22.9
⑱ 訪問介護や通所介護等のサービス事業所	34.9	24.8
⑲ 医療機関 (病院など)	59.7	33.0
⑳ 知人・友人	32.1	26.6
㉑ その他 ()	2.8	6.4

(※) つどいの広場、子ども・子育て支援センター、地域子育て支援センター、児童館

問7 複合的な課題を抱えた人や世帯又は支援を拒否している人や世帯について、対応できる専門機関や地域団体、ボランティア・NPOなど必要な機関等の十分な情報を持っていますか。(○は1つだけ)

- 1 十分持っている (11.9) (4.2)
- 2 少し持っている (46.8) (49.2)
- 3 持っていない (35.8) (30.8)

問8 複合的な課題を抱えた人や世帯又は支援を拒否している人や世帯について、援助を求められ、対応できなかった (又は対応できそうもない) 場合、その原因は何だと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 対応できるサービス・活動する団体の情報がないこと (36.7)
- 2 相談できる窓口が分からないこと (29.4)
- 3 世帯全体への支援を包括的に進捗管理する機関等がないこと (36.7)
- 4 地域住民の協力が得られなかったこと (6.4)
- 5 対応できるサービス・活動する団体がないこと (23.9)
- 6 対応するための時間がとれなかったこと (30.3)
- 7 関係機関との連携がとれなかったこと (14.7)
- 8 本来業務の範囲を超えるものであること (42.2)
- 9 対応できなかった (又は対応できそうもない) ことはない (8.3)

商店街・企業・大学アンケート質問票【結果】

※各選択肢横にある () 内の数字は回答割合です。

1. 貴法人(組合)の地域活動や社会貢献活動についてお尋ねします。

問1 貴法人(組合)の活動は、どの範囲の地域住民と関わっていますか。(○は1つだけ)

- 1 小学校区内(19. 1) 2 中学校区内(12. 4) 3 区内(15. 7)
- 4 名古屋市内(13. 5) 5 愛知県内(15. 7) 6 その他(12. 4)
- 7 特に関わっていない(9. 0)

問2 【前の問1で「7」が○であった場合は、問4の回答へ移動】

貴法人(組合)の問1で回答した地域住民との関わり方は、どのようなものですか。

(○はいくつでも)

- 1 本来業務そのものが地域住民を対象としている (27. 8)
- 2 本来業務の一部が地域住民を対象としている (16. 5)
- 3 地域住民等を対象とした行事を開催している (50. 6)
- 4 地域住民が行う行事等に参加している (51. 9)
- 5 地域住民が行う活動に対し、場所、資金又は物資等の支援をしている(他法人や施設への支援を除く。) (39. 2)
- 6 その他 () (5. 1)

問3 地域において様々な団体や企業等が福祉に関わっていますが、貴法人(組合)では、どのような団体や企業等と協力して事業を実施したり、情報交換を行うことが必要と考えていますか。(○はいくつでも)

- 1 各学区の地域福祉推進協議会(29. 1) 2 区政協力委員会(48. 1)
- 3 民生委員・児童委員協議会(15. 2) 4 保健環境委員(8. 9)
- 5 女性会(20. 3) 6 老人クラブ(16. 5)
- 7 子ども会(30. 4) 8 消防団(30. 4)
- 9 町内会・自治会(68. 4) 10 ボランティアグループ(16. 5)
- 11 NPO(17. 7) 12 社会福祉法人(16. 5)
- 13 介護保険サービスや障害者総合支援法に基づくサービスなどに関わる民間業者 (7. 6)
- 14 医療機関(16. 5) 15 商店街(53. 2)
- 16 地元企業(41. 8) 17 スーパーマーケット・コンビニ(15. 2)
- 18 喫茶店(11. 4) 19 新聞販売店(7. 6)
- 20 趣味の活動を行うグループ(スポーツ、娯楽、文化、歴史、まちづくりなど) (10. 1)
- 21 大学(41. 8) 22 小中学校・高等学校(41. 8)
- 23 保育園・幼稚園(27. 8) 24 PTA(16. 5)

問4 地域住民や地域の各種団体との関わりを特に意識して活動しておられますか。

(○は1つだけ)

- 1 強く意識している (33. 7)
- 2 意識している (43. 8)
- 3 あまり意識していない (22. 5)
- 4 全く意識していない (0. 0)

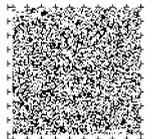
問4-2 貴法人(組合)では、地域との関わりについて、どのようにお考えですか。

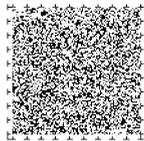
(○はいくつでも)

- 1 地域で催される祭りなどの行事に参加する等、地域との関わりをつくっていきたい (69. 7)
- 2 例えば、配達の最中に見守りを行うなど、日頃の本来業務に付随して貢献できることがあれば、協力をしていきたい (25. 8)
- 3 地域住民が行う福祉的な活動に、必要な場所や物を提供していきたい (28. 1)
- 4 地域住民が行う福祉的な活動に、資金面で支援を行いたい (13. 5)
- 5 地域住民が行う福祉的な活動に、職員(学生)も一緒に参加させたい (19. 1)
- 6 特に考えていない (9. 0)

問4-3 貴法人(組合)が地域活動や社会貢献活動などを行う上で、どのような支援があればよいと思いますか。(○は3つまで)

- 1 活動を行っている法人(組合)同士の情報交換会の開催や事例集等の作成 (44. 9)
- 2 地域福祉全般のニーズや国の動向等がわかる研修会等の開催 (16. 9)
- 3 支援を必要としている地域や内容の情報提供 (51. 7)
- 4 支援を必要としている地域と支援をしたい法人(組合)のマッチングをする相談窓口 (14. 6)
- 5 活動を行った法人(組合)の成果のPRにかかる支援(場の提供など) (15. 7)
- 6 その他 () (3. 4)





II. 地域の困り事について、お尋ねします

- 問1 現在、貴法人（組合）の活動地域で問題になっていると思うことは何ですか。
 (○はいくつでも)
- 1 住民同士の交流する機会の減少 (41.6)
 - 2 住民同士の助け合い意識の低下 (28.1)
 - 3 地域の治安（防犯） (20.2)
 - 4 災害時に備えた対応や防災対策 (48.3)
 - 5 地域の美化 (23.6)
 - 6 高齢者世帯や障害者世帯への（見守りや生活等）支援 (27.0)
 - 7 認知症による周辺症状に伴う近隣トラブル（徘徊など） (6.7)
 - 8 子育て環境（子育ての孤立化など） (14.6)
 - 9 子どもの健全育成（非行やいじめ、子どもの貧困など） (12.4)
 - 10 地域での住みやすさの問題（商業施設の減少や放置された空き家の増加など） (28.1)
 - 11 その他（具体的に：) (2.2)
 - 12 特にない (9.0)
 - 13 分からない (4.5)

- 問2 地域の困り事を地域住民の課題として、住民同士が協力して問題解決する力は、ここ数年でどのようなになっていると思いますか。(○は1つだけ)
- 1 高まっている (2.2)
 - 2 やや高まっている (24.7)
 - 3 変わらない (28.2)
 - 4 やや低下している (16.9)
 - 5 低下している (5.6)
 - 6 分からない (21.3)

- 問3 地域の困り事を地域住民の課題として、住民同士が協力して問題解決する力を高めるためには、何が必要だと思いますか。(○は3つまで)
- 1 地域福祉ニーズに対応する団体の情報の地域への発信 (32.6)
 - 2 活動者への研修等の開催 (5.6)
 - 3 専門機関のアドバイス (16.9)
 - 4 地域団体やボランティア・NPOと顔の見える関係づくり (32.6)
 - 5 身近に相談できる人や場所の存在 (39.3)
 - 6 元気な高齢者が担い手となるための取り組み (22.5)
 - 7 学生などの若者が担い手として参加するための取り組み (22.5)
 - 8 社会福祉法人（福祉施設等）、商店や企業等の地域貢献による支援 (16.9)
 - 9 住民が話し合う場 (20.2)
 - 10 地域住民の福祉意識を高めるための取り組み (21.3)

問4 地域における福祉に関する活動のあり方について、日頃感じていることがございましたら自由にご記入ください。